

SADIOT LOCK Plate

取付説明書（施工業者様向）

取り付け前にPlateでの設置が可能であることを今一度ご確認ください。
QRコードが読み込みできない場合下記URLを直接入力してください。
http://www.u-shin-showa.co.jp/products/sadiotlock_plate/



QAAA1086A000

株式会社 **ユーシン・ショウワ**

<http://www.u-shin-showa.co.jp/>

施工業者様へ

こちらは SADIOT LOCK Plate（ベースプレート・本体用ホルダー・中継ホルダー）の取付説明書です。

○サムターンの取り外し・取り付けを伴います。事前に各製品の取り外し・取り付け方法をご確認ください。

製品によってサムターンを外すとシリンダーが外れる場合がありますのでご注意ください。

フロントを外す場合は作業中に扉が閉まらない様ご注意ください。中でラッチが回転し扉が開かなくなることがあります。

○必ずSADIOT LOCK本体付属のスタートアップガイドをお読みの上、こちらをご利用ください。

本体付属のスタートアップガイド内「設置する」欄の両面テープの代わりに本Plateを使用します。

高さ調整は本体付属のスタートアップガイドをお読みの上、下記表と合わせてスペーサーの有無、種類を選んでください。

本Plate使用時、両面テープ取り付けの場合とは本体用ホルダー分の高さが異なります。

○インパクトドライバーは使用しないでください。

1 SADIOT LOCK本体に①本体用ホルダーを②取付ネジ4本で固定し、サムターンホルダーを突起の位置に合わせてはめ込みます。

SADIOT LOCKを設置したいサムターンの高さに合わせて、必要に応じて③スペーサー④中継ホルダーを使用してください。

①本体用ホルダー、③スペーサー、②取付ネジの組み合わせは下記表をご覧ください。（推奨締め付けトルク0.2N・m）

※ネジの長さを間違えて取り付けした場合、バッテリーボックスが外れない等、本体の故障・破損の恐れがあります。十分にご確認ください。

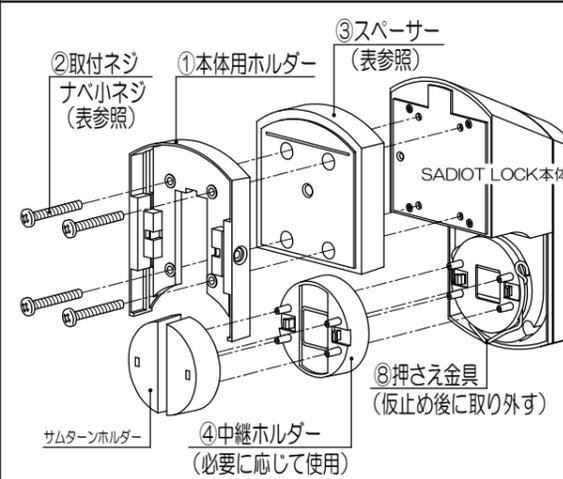
①本体用ホルダー ③スペーサー ②取付ネジ 組み合わせ一覧表

M3×8 4本 (ネジセットA)	M3×15 4本 (ネジセットB)	M3×22 4本 (ネジセットC)	M3×30 4本 (ネジセットD)	M3×36 4本 (ネジセットE)
本体用ホルダー	本体用ホルダー スペーサー小	本体用ホルダー スペーサー中	本体用ホルダー スペーサー中 スペーサー小	本体用ホルダー スペーサー大
23.9 (11.9)	31 (19)	38.1 (26.1)	45.2 (33.2)	52.3 (40.3)
37.7 (25.7)	44.8 (32.8)	51.9 (39.9)	59 (47)	66.1 (54.1)

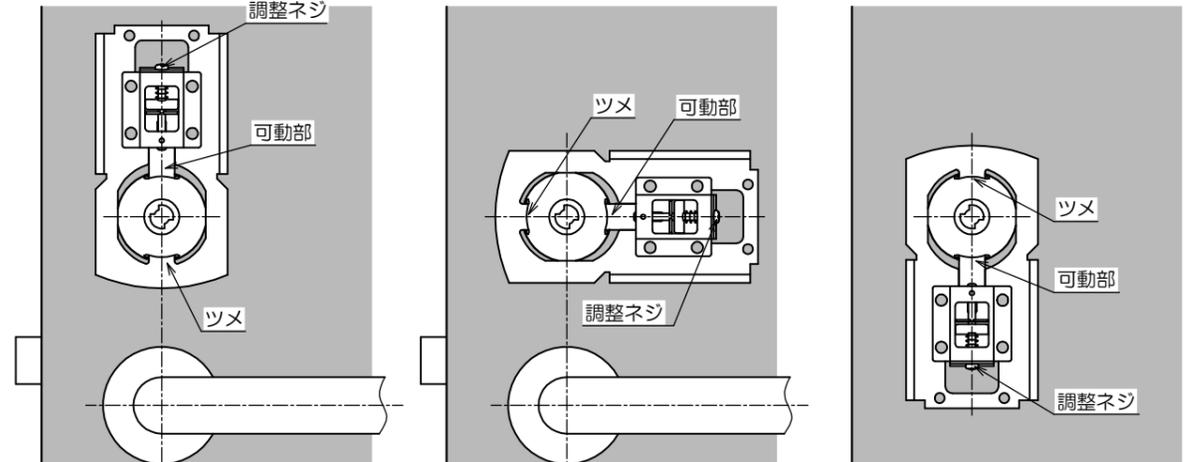
※記入寸法は参考値です。図は中継ホルダー未使用。カッコ内寸法は中継ホルダー使用時寸法。（中継ホルダーの高さは12mm。）

※サムターンカラーはベースプレートの上に乗ります。ベースプレートの厚みは1mmです。

組み付け図



ベースプレート取り付け例



2 扉についているサムターンを外します。

3 ⑤ベースプレートを取り付けます。

扉の切り欠き穴に取り付けの向きに合わせて⑤ベースプレートのツメを引っ掛け、
⑤ベースプレートが扉面から浮かないよう押し当てながら⑥調整ネジを締めていきます。（右図参照）
⑤ベースプレートが固定されてきましたら縦方向（又は横方向）にまっすぐになるよう位置を整え、
そこから更に2回転増し締めし、固定してください。（推奨締め付けトルク0.3N・m）
※強く締めすぎると変形を起こし正常な取り付けができなくなりますので、調整はゆっくり行ってください。

4 サムターンを元の位置に取り付けます。

取り付け後、サムターンの操作に問題のないことを確認してください。

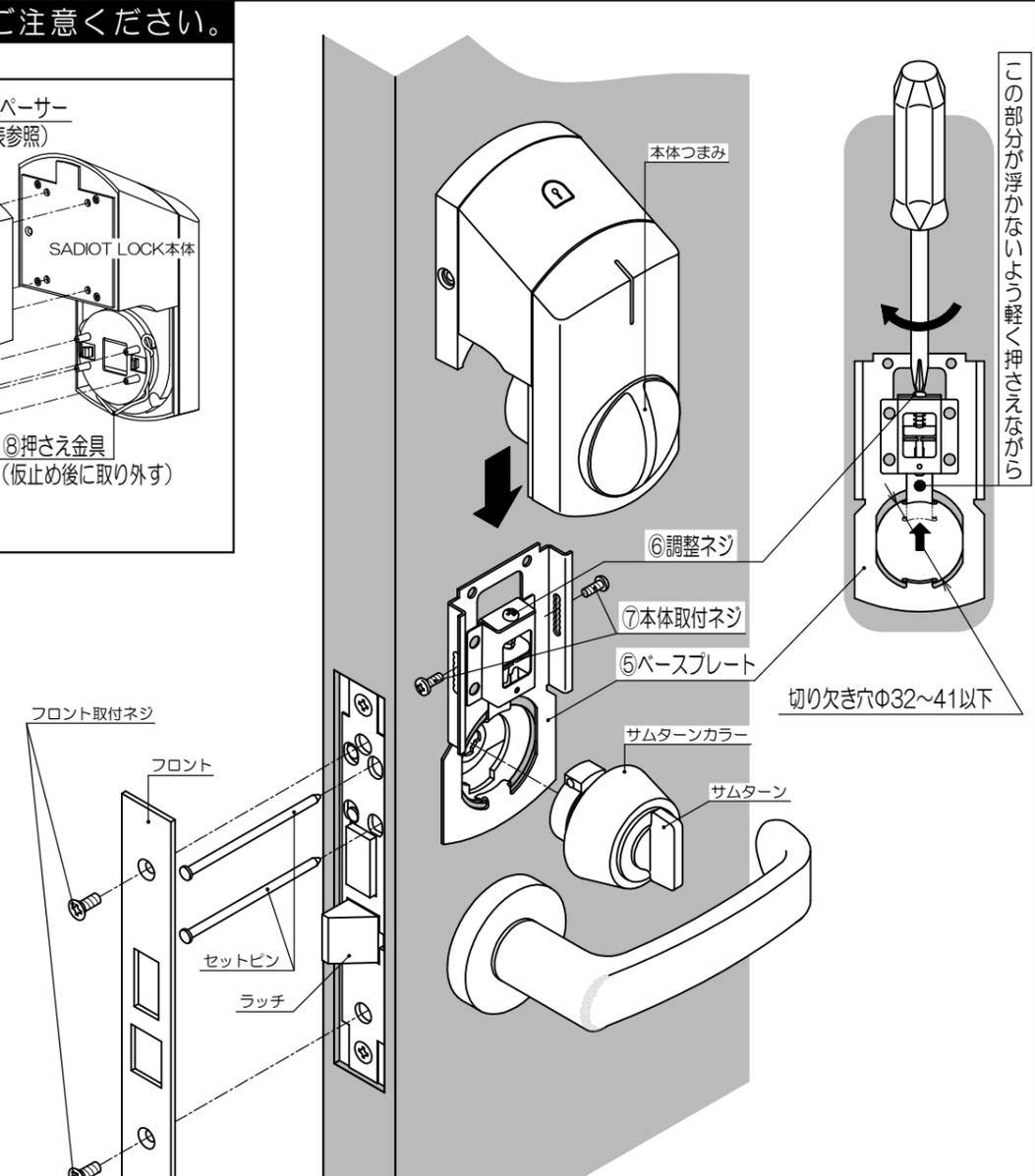
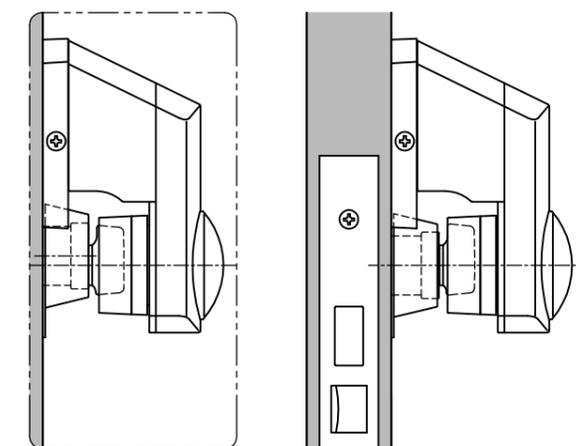
5 ホルダーを付けた本体を⑤ベースプレートに差し込んで位置を調整し仮止めします。

扉についているサムターンと本体のつまみの向きを、縦向きの場合はどちらも縦方向に、
横向きの場合はどちらも横方向に合わせてから差し込みます。（右図は縦向きの例）
サムターンの回転軸と本体つまみの回転軸が合うように位置を調整し、（右図設置例参照）
⑦本体取付ネジ2本を仮止めします。（軸の位置ずれは半径3mm以内を目安に最小になるようにしてください）
⑧押さえ金具を外し、本体のつまみを回してスムーズに回転することを確認してください。

6 仮止めした⑦本体取付ネジ2本を増し締めし、固定します。（推奨締め付けトルク0.2N・m）

7 最後に必ず本体つまみを動かして動作確認を行ってください。

設置例



注) 図はサムターンピン止めタイプの一例です。
サムターンの止め方は製品により異なります。
フロントを取り外した場合、取り付け時はラッチの向きに注意してください。